

保育所建て替え・民営化方針に係る市民説明会 顛末	
日 時	令和5年7月29日（月）午前10時30分～午後0時25分
会 場	西部公民館1階会議室
出席者	<p>【参加者】 34名</p> <p>【報道】 信濃毎日新聞、北信ローカル</p> <p>【事務局（説明者）】 保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、担当（4名）</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>保育所建て替え（民営化）方針について【市公式HP等公表済資料】</p> <p>保育園民営化ガイドブック【令和4年7月保護者あてに配布したもの】</p>

【説明会内容】

1 開 会 保育課長補佐	(略)
2 あいさつ 保育課長	<p>皆様方にはお忙しい中、説明会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。また、日頃から子供行政の運営にご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。</p> <p>本日の説明会につきましては、今月6日に公表しました、保育所の建て替え民営化方針についてご説明をさせていただきます。</p> <p>現在、公立保育園は9園ございますが、平野保育園と高丘保育園につきましては、園舎の老朽化が進み、安全安心の保育を維持するため園舎の建て替えは喫緊の課題でございました。</p> <p>また、地元区や保護者の皆様方からも建て替えのご要望をいただいております。保育所の建て替えと民営化につきましては、昨年11月に公立保育所民営化ガイドラインを策定し、取り組んできたところでございます。今回、早急に2園同時に建て替えができる方策として公立保育所民営化ガイドラインに基づき、両園につきましては、民設民営の方針といたしました。</p> <p>保育所の民営化に対しましては、民間活力による保育の質の向上、多様性に対するための選択肢が増えることなどを期待しており、よりよい民間事業者を選定したいと考えております。</p> <p>保護者や子供達にとって、変化が伴うことであり、ご心配、ご不安があろうかとは思いますが、今後も必要に応じて丁寧な説明をして参</p>

りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

3 説明

保育課長

(略)

※公表済資料の「保育所建て替え（民営化）方針について」説明。

高丘保育園（民設民営により令和7年4月に新園開園予定）

平野保育園（民設民営により令和7年4月に新園開園予定）

（参考）松川保育園については統廃合を含め検討継続

4 質疑応答

Q1（参加者）

2つの保育園に対して、保護者説明会を行った際にその中でどんな意見・質問が出たのか。

A1（保育課長）

平野保育園、高丘保育園に通ってらっしゃるお子さんが、民間で建て替えをした時にそちらの保育園にそのまま移れるのでしょうかというご質問や、建て替えを行う場合は、それぞれ高丘地区内、平野地区内での建て替えなのかというご質問もありました。

あとは、ご要望としまして、民間ですので、例えば閉園になってしまうという可能性も考えられる中で、市としてはどのように民間の事業所に関与していくのかということや、保育の質は落として欲しくないという声がありました。

なお、今現在で確実にお答えできる場所はお答えし、事業所が決まった後でないとお答えできない部分については事業者が決まった後で、保護者と市と事業所で協議を持ってその中で確実に決めていきたいということで、お返事をさせていただきました。

保護者説明会での質問、こちらからの回答についてはQ&A集という形で、今作成していますので、本日の質疑等も含めて、今後ホームページ等でお知らせしていきたいと思えます。

Q2（参加者）

保育園の運営形態が民営であっても公営であっても両方ともよさがあると思う。民営の保育園に通っても、公立に通っても同じように大事にされるというのが非常に大事じゃないかと考える。民営化した場合、国や県からいろんな補助があり、市の持ち出しが少なくすむという話ですが、いずれも原資は税金であるため、そのことを理由に民営化するというのは違うように感じる。市が建て替えた場合であっても補助金や交付税により財源が措置されるように要望すべきであるとする。

また、本日の資料の民営化ガイドブックにメリット、デメリットと

という一覧表を作成していただきましたが、民営化のメリットというのが、保育サービスの向上、保護者の選択肢の拡大、対応の迅速化とあるが、これは公立であったって言えること。民間であっても公立であっても頑張らなければならない。また、デメリットについても同じであり、民間であっても公立であっても責任をもって対応していかなければならないと考えます。

A 2 (保育課長) 保育所の建設にあたって市が建設した場合の補助に対する国への提言ですが、19 市の市長会等においても国へ要望しているところですが、引き続き市長会を通して国の方には要望をあげていきたいと思えます。

また、民営化のメリット、デメリットの部分について、現在市内にある 9 園のうち 1 園 1 園でそれぞれ特色を出して運営していくとなるとなかなか難しい現状があります。公立である以上、どこの保育園に行っても、同じ水準でなければならないというところがあり、特色については出しづらい形となります。

Q 3 (参加者) 公立だから、何かできないとか、民間だからできるってのは、なぜそのようなことが言えるのか。公立だから、平等でやらなければいけないというのは確かにそうだと思いますが、だからといって民と公で差が出ていいのか。同じ子供たちなのに、なぜ公立に行けばこうで、民間に行けばこうだ、選択したのだからいいんだという話と言えるのか。また、民間は当然儲けなければならない中で、この田舎で保育を経営したいという者がいるのか、再募集という話もあったが、手挙げする者がいる見込みなのか。現保育園の跡地については、どのように利用するのか。民営化ガイドブックを見ると、お金がないので、民間がいいということではなく、市ではどうしようもできないので、一つの知恵として民設民営でやるというように見えるがそのあたりはどうか。

A 3 (保育課長) 民と公で差が出るのかという部分について、当然ですが、保育というのは児童福祉法や、国の指針、ガイドラインに基づいて行っているものであり、その部分については、民間であろうと公立であろうと変わらない部分となります。それ以外のところのいわゆる特色の部分なのですが、やはりどの分野であったとしても民間と公立との違いはあると思えます。

今回募集するにあたって、そもそも手挙げの見込みがあるのかというところなのですが、これにつきましてはこれから募集をかけて、い

ぎ蓋を開けてみないとわからない部分もありますが、今のところ方針を出させていただいたところ、いくつか問い合わせはいただいている状況です。

土地の活用につきましては、説明の通り、移設という形で整備を考えておりますので、現保育園の場所というのは、空いてきます。両園とも一部借地はあるのですが、市所有の土地も多分にありますので、その部分の活用につきましては、市の中にそういった部分を検討していく会議がありますのでそこでの判断もあるかと思いますが、一つの案としては、今回の市独自の補助の原資としてはどうか等検討中となります。

民営化ガイドブックを見るとお金がないので民営化という考えになっているのではないかというご質問となりますが、1つの理由としては、確かにその部分もあります。ただ、やはり民設民営でやったときに、市の財政負担が少なくなった部分の財源をより手厚い保育や子育てに回せるというところで、例えば現状その保育士が足りていない部分に適切に充当したりしていきたいと考えておりますので決して民設で浮いたお金がどこかにいってしまうということではなくて全額ではありませんが、ある程度は現状を手厚くしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

Q 4 (参加者)

民間のよさについての説明が具体的な内容でなく、抽象的であり、伝わらないため、不安が多く残る。民間では、全国的な話題でもありましたが、補助金をピンハネしていたなんていう話もあった。民営化に対する市のスタンスがよく分からない。

また、長野県が全国で公立割合1位という資料もあったのですが、公文書に「公立神話」という不明確な表現を使用してよいのか。むしろ公立が1位というのは誇るべき内容ではないか。民営化についてはもっと時間をかけて検討していく必要があると考える。財源問題についても本日話題に出ているが、市議会でも何回か質問が出ているかと思えます。その中で、公設の場合の市の負担について、起債の活用や交付税措置されるという話もあり、そういったものもちゃんと数値化し、比較の結果民設民営とするべきという議論が足りていないように感じる。

高丘保育園に対して、市の皆さんはどういう保育園にして欲しいであったり、ビジョンとか、そういうものがあるのか教えてほしい。

A 4 (保育課長)

民のよさが伝わってこない、なぜ民営化なのかという部分ですが、

改めてお伝えしたいのは、一番はまずは建物の老朽化への対応を早急に行いたいというところです。高丘保育園、47年建て、平野保育園45年建てというところであり、それぞれ地元の皆さんもこの2園へ行かれたことあるかと思うのですが、やはり老朽化が激しくなっています。その結果、この2園及び松川保育園について、0歳児が受け入れられないという状況です。昨今働き方や家族の構成も変わってきた中で、昔のように、3歳になったら保育園、というところではなく、0歳からも保育に出して働き始めたいという方もたくさんいます。そういった中で、この高丘保育園、平野保育園で、0歳児を受け入れられないというところは、何とかしていかなければいけないため、総合的に考えての民営化という判断となります。

また、色々な手法がある中で、どうやったら早くこの老朽化した保育園を建て替えられるかっていうところを、検討して今回の方針に至ったところです。もう少し長く時間をかけて検討していこうっていう考えもあるかと思いますが、やはり良い環境、新しい設備のところ、保育所に通っていただきたいという考えとなり、そこでやはり、2年3年先送りということとなると、大切な児童の皆さんが通う場が、古いままになってしまうため、1年でも早く、新しく整備していきたいなというところです。

民間の保育所において、補助金のピンハネや通園バス内への園児置き去り事件等は実際にあったかと思います。通園バスであれば国の補助により安全装置を整備したりというのもありますし、そもそも民間だからといって市が関与しない訳ではありませんので、それぞれのことについて一緒になって考えていきたいかと思います。

公立でもよいのではないかという話ですが、公立ですと、早急に2園同時に立て替えてというのは、現実的に難しいです。その中でやっぱり保育課としてはどうやったら早く建て替えられるかというところを考えて、こういった方針を理事者と、協議してく中で、決めさせていただいたところです。

資料中の公立神話という表現については、今後見直しさせていただきます。申し訳ありませんでした。

時間をかけて高丘保育園のことを考えていきたいという部分については、今週実施させていただいた2園で行った保護者説明会でも様々なご意見をいただきましたので、そういったものも盛り込みながら、地域の皆様がよかったねというふうにいえるような業者の方を選んでいくとともに、決定後も保護者含めて、保育園をどのようにして

いきたいかというのを、一緒に考えて検討していきたいと思います。

財源の話ですが、市で建てた場合については借金をして建てることとなります。借金、つまり起債の部分につきましてご指摘のとおり交付税措置はありますが、対象の歳出だけでなく市の歳入歳出状況等にもよって金額が変動し、基本的に満額措置されるものではありません。対象の経費に対して明確に措置されるという性質のものでもないため、補助金とは異なります。

高丘平野に対するビジョンとなりますが、それぞれの地域に、保育園存続させていきたいというふうに関心を持って、それでその方法として、民設民営ということで方針を出ささせていただいたところとなります。

Q 5 (参加者)

民間保育園の理事長をしておりますが、民間活力による保育の質の向上、多様性に対応するための選択肢をふやすためとありますが、どの民間保育園を考えていらっしゃる内容でしょうか。

民間事業者が当たり前の保育をするためにどれだけ民間が、大変な思いをしているかというところをご存じでしょうか。また、子供たちのことを話していますが、そこに働く職員の低賃金とかそういうことは考えていますか。2つの民間保育園に対して市が責任を持つという話でしたが、今ある民間保育園に対して何もしてないと思います。色々な実態を知らないで、民間保育園の活力をというのは、勝手な考えであり、市がお金がないからということで、特色のある民間保育園をというのは間違いだと考えます。また、こんな大事なことについて、もう決まったこととして説明するのではなくて、公聴会とか、もっとみんなの意見を聞くということをやっていただきたい。保育所のあり方検討懇話会の委員も務めていたこともありますが、民間委託の話は出ていましたけど、どこの保育園という話はなく、その時点で公表してもらっていただければもっと話もできたはずですし、その中で中野平中学校の学校区内に1つは公立を残すという話だったはずですが、なぜ2園とも民営化なのか教えていただきたい。

それと、保育課の職員が総入れ替えになったのはどうしてでしょうか。この事業を進めるためですか。

A 5 (保育課長)

説明の中でいう民間がある特定の民間を示しているのかということなのですが、特定の民間を指して説明をしているわけではありません。

また、民間が大変であり、市は現状何もしてないのではないかと

うお話ですが、ただ決して、何もしていないかというところ、そういうことではないのではないかと我々も思っている部分があります。補助等全額ではありませんが、できる範囲ではさせていただいていますし、私どもとしても同じ保育をするものとして、色々と携わっているつもりです。うまくいっていない部分もあるのかと思いますので、今後そのあたりは一緒にお話させていただく中で、改善できるところは改善していきたいと思います。低賃金であるという部分については、国や市で加算できる部分はやっている中で、それ以上できるかというのはこの場では即答はできませんので、今後課題として、お話をさせていただければと思います。

民間保育園に対してどのように考えているのかというところですが、民間であっても、公立であっても保育というところ同じですので、当然お子さんの気持ちを考えてというところは、携わっている保育士、経営されている経営者の方、市ともに同じ気持ちでやっているのではないかというように考えております。

中野平中学校区で、1つは公立、1つは民間という形でということなのですが、今後中野平中学校区内において保育園が1つになってしまうという可能性もあるかもしれないですし、学校区で考えるのではなく、市全体というところで考え、今回2園同時に民営化ということとしたところです。

保育課、係長以上全員異動となった部分についてですが通常の人事異動によるものとなります。他の部署であっても係長以上全員異動するということはあることとなります。

Q 6 (参加者)

老朽化が進んで、だから、急いで建てかえねばならない。でも2園同時にはできないという説明なのですが、建てた時から耐久年数とかかって大体分かっていたかと思うのですが、それに向けて、市で予算とか考えてこなかったのでしょうか。今回は保育園の話ですが、学校も子供が生活する場ですけど、プールが壊れても修理できない、やっぱりお金がないから。遊具を撤去しても、新たにそれに代わる遊具は入れない。お金がないから。子供が大事という話の割には行動が伴っていないように感じます。行政の責任として、子供の環境、というならば、しっかり考えて欲しいと思います。

A 6 (保育課長)

建物耐用年数っていうのは、ある程度の耐用年数がありますので、そこから推測というのはできるかと思います。ただそれぞれの場所によって、老朽化の進みは違うので、多少の差というのものもあるかと思

ます。いずれにしても今ご指摘のように先を見越して、ちゃんと考えていていただきたいというところについて、真剣に受けとめまして、今後もそのように対応を考えていきたいと思います。

要望（参加者）

先ほどの話にもありましたが、私立になったら、保育園が夢のようになるということではなくすごく大変なんだと思います。本来の保育をしていくためには本当に大変なんだと思います。お金のためではなく、どんなに人数が減っても、子供がゼロになることはない、成長していく子供は必ずいるわけですから、そういうことを考えて何を大事にするかっていうことを、私たちも考えなきゃいけないし、行政の方でもそこを大事にして欲しいというと思います。

Q 7（参加者）

私立に勤めている保育士です。先ほど、0歳児の受け入れができない、0歳児が増えている、働くお父さんお母さんが増えているという話がありました。それだったら、市が、まず、その体制を整えていただくってところが一番大事なんじゃないかと思います。ただ、民間の保育園が0歳児の受け入れをしてとてもいい保育をしているから民間に任せるのがいいという考えなのか、お金がないけどとにかく早急に建て替えたいから民間に任せるという考えなのか、私は後者の方に聞こえてならないです。

過去に私立の保育園でちょっとバスを貸していただきたいということで市の方をお願いしても民間なので難しいとあっさり断られたことも何度もありますし、民間保育園に勤めていて、給料は本当に低いというところも認識してて、それでもやりがいをもって勤め続けているところです。0歳児保育の問題ってすごく大きくて、0歳児に関しては突然死のリスクもあったりしてとても大変なことなので、なぜ民間がいいのかというその意見を聞かせていただきたいと思います。

A 7（保育課長）

先ほどお話した0歳児の件ですが、現在中野市内では公立園が9園あり、0歳児を受け入れているのは、6園となります。高丘保育園、平野保育園、松川保育園の3園では0歳児を受け入れしていないというところがございます。なぜ受け入れができていないのかっていうところなのですが、建物の問題もあり、現場からの声では、とてもハイハイできるような床ではない、建具の立て付けも悪く、すき間風が入ってくるという状況です。また、職員体制の問題もあります。決して0歳児を民間へということではなく、現在受け入れてきていない高丘保

育園や平野保育園が民間によって建て替えることができれば、高丘地区と平野地区にある保育園でも0歳児が受け入れできるという意味での発言、説明ということになります。

なぜ民営化なのかということについては、まずは建物を建て替えたいというところと、やはり民間でできることは、民間にお願いしていくという考えもあり、今回2つの園を民営化ということで、示させていただいたところです。

Q8 (参加者)

保育課長が、今後の少子化の動向次第では、中野平中学校区内の保育園が1つになってしまうかもしれないというようなことをお話されましたが、今後進める予定の、民間事業者の公募選定のところで、そういったことも民間事業者にお示しするという認識でいいでしょうか。

先ほど、他市と比較して、私立の保育施設が少ないのかとか、あるいは公立神話というようなことがあって、長野県は私立の割合が少なく、19市の中で、私立の数が212となりますが、そのうち長野市飯田市が92となります。ということは長野市飯田市がこの民営化を牽引しているのだと思いますが、この中で、民設民営の園がどのぐらいあって、そこで皆さんが示されているメリットデメリット、これに対してどのような対応がなされているのかということ、私は皆さんちゃんと調べてあるかと思しますので、市民の皆さんにも公表する必要があると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

中野市は今まで努力をしてこられて、保育施設における発達障害の疑いのあることも、積極的に保育士の加配をされてきました。非常に先進的な取り組みだったろうと思いますが、資料2のところ、保育士の人数、保育士の人数配置というところで、サービスの低下とならないように、事前に法人と配置基準などを調整し、運営の条件としますというふうにされている中で、今までやってこられたものをそのまま次のところに反映をされていくお考えなのかどうか、教えてください。

民間については、非常に保育というものに対して、前向きに取り組んでおられるところもいくつか見受けられますし、一方で、株式会社で運営されて非常に運営状況が曖昧な大手の保育事業者もいるということも存じているところではありますが、民設民営ということになると、まずこの施設整備に対して4分の1を事業者が持たなければならぬ。大体一生懸命真面目に保育に取り組んでおられるところという

のは規模が小さくて、そんなお金を投資するだけの余力がないわけです。投資してくれということになれば、大手の事業者が考えられるわけですけども。民間の活力、一生懸命中野市の子供をこれから育ててもらおうというところに民設民営ということでは、ハードルを設けていることにならないか。小規模園が参入しにくくなるようなことはないか。

A 8 (保育課長)

中野平中学校区の少子化が進んだときに、1園になる可能性を示しておくべきではないかというお話なのですが、可能性的にはないことはないのですが、基本的にはそういった部分の調整は市の公立保育園で行っていきたいというふうに考えております。子どもの数が減ってきているといった時には、市内の公立保育園の定員を減らし、私立保育園の方へ受け入れをしていただくように考えています。

民営化ガイドラインに示した19市の状況なのですが、これについては、19市の保育の会議の中での資料となり、民設民営なのかそれぞれのメリットデメリットをどのように解消してるのかというところまでは、現状把握しておりませんので、今後、その部分についても、分析していきたいと考えます。

加配等につきましては、今まで通り行っていきたいというふうに考えておりますが、決定した事業所と市、保護者の方を含めた中で決めていきたいと考えています。

また、これだけの定員の保育園をとということになりますと、大手の方が参加しやすいということは、事実でありますけれど、金銭的な面につきましては、通常の交付金以外に、なるべく事業所の方の負担を少なくするために市独自の補助金っていうのを今考えているところです。金額的なところは、ハードルの方を下げていきたいというふうに考えております。例えば、借地であれば、借地代、土地を購入するのであれば購入費、そういったところにも、補助というところを考えていきたいというふうに考えています。

Q 9 (参加者)

かつて市内の私立保育所に勤めていました。財政問題、お金がないということが一番の問題だと思うのですが、だから民営化するというようにセットになっているように受けとめてしまうが、そういうことでいいのか。なぜ財政問題と民営化がセットなのか。財政も問題を、子供に押し付けているような気がします。やはり財政ということになると、責任者は市長さんであり、市長さんの姿勢がどう問われるかという話かと思いますが、なぜ市長さんがこの場にいらないのでしょうか

か。自分は保育園に勤めていたから今こうやってお話ができるけれども、実際に今公立に勤めている、保育する側の、保育士さんたちはどういうふうにお考えなのでしょうか。非正規の方も多いと聞いている中で、そういう人の人たちの声もちゃんと聞いてきたのか。

本日もこれだけの問題が出ているのであれば説明会ではなくて、本当にもう少し話し合いをしていくということをお願いしたいと思います。

A 9 (保育課長)

お金がないから、民営化なのかというご質問なのですが、今回の目的は、まずは建て替えをしたいということとなります。その中で、公設公営、公設民営、民設民営、色々なところを考えてきた中で、ベストな方法ということで、民設民営という方針を出したところです。

また、子供が一番で考えていくべきではないかというところなのですが、財政的なところについてもそうですけれど、私ども行政の中でも保育に携わっている職員は、やはり自分のところを一番に考えていきたいと強く考えていますし、当然そう思って、業務に携わっております。ただやはり、保育課であっても、中野市の一部の部署である中で、中野市全体を見渡したところで、どこを一番先に手をつけなければいけないのか、そういったところはやはり市長が判断していくところとなります。ただ、お金がなければ保育所を建て替えしないのかという訳にはいきませんので、他にどういう手があるのかというところを考えた中で、民設民営とさせていただくこととしたところです。

保育に携わる方への説明というのはどうなっているのかというところなのですが、方針を出させていただいた以降、市の議会の方に説明をして、保護者の方に説明をさせていただいて、今回この市民説明会ということで市民の皆様方に説明をさせていただいています。もちろん現場で働いている保育士というのは、とても大切な存在ではありますが、順番がありますので、保育士に対しても、今後疑問に思っているところ等はお聞きし、説明をした上で進めていきたいと考えております。会計年度さんを含めて保育士の方には、本日の資料と同じものを業務用の通知アプリを通じて、配信させていただいており、無記名でご意見の方はいただいております。後日、説明会もする予定でありますので、よろしく申し上げます。

要望 (参加者)

本日の内容も含めて公表していただくという話でしたが、ホームページ等で公表していただいても取得するのが難しいことから、紙での提供をお願いしたい。また、ご参加いただいている皆さんにも本日の

	<p>ような内容を含めて議論がされているため、一度議会を傍聴してみたい。</p>
Q10 (参加者)	<p>私立保育園に勤めているものですが、現場の保育士への質問、説明が、一番最後というところが本当にせつなく思います。ぜひ早急に、今のこの状態を、保育士の先生方に説明していただきたいというふうに思います。</p>
A10 (保育課長)	<p>私どもも現場で働く、保育士さんの方に、順番的に後になってしまって申し訳ないと思っています。早速に、直接意見を交わしてお話しをさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
Q11 (参加者)	<p>今回、この説明会に行きたかったのだけど、もともと予定があって来られない方がいまして、ぜひ1回だけではなく、また複数回、今回来られない方にもしっかり届くような説明を、また何回か計画していただきたいなというのを伝言でいただいているので、ぜひ計画してください。</p>
A11 (保育課長)	<p>確かに1日しかなかったもので、今後何か直接お声を聞けるような場を考えていきたいと思っています。</p>
要望 (参加者)	<p>将来50年とか長い期間の中で、1つになる可能性もあるとかそういうことを簡単に言わないでいただきたい。</p> <p>それと今回のような定員で私たちのような小規模な園がやりたいと思っても手が出なかった中で、土地等に市が独自の補助を検討していると聞きし、とてもうれしく感じます。</p> <p>今まで保育において大手の事業者が長野県内に参入してこなかったのは事業として成り立たない部分も大きいと思う。地形的な問題で小さな園が多くあるというような現状もあるかと思う。中野市の公立の割合が多いということについては誇りに思っていると思う。公立をしっかり守っていただくことで、民間が成り立っているということをお伝えしたい。</p>
5 その他 保育課長補佐	<p>今日いただいたご意見等もまたまとめまして皆さんにお示しさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
(終了時間)	<p>午後0時25分</p>

保育所建て替え・民営化方針に係る市民説明会 写真（西部公民館）

